

キタ！からきた



※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。
kitasibu2012@yahoo.co.jp 大阪北支部宛

だより

第152号

「こんなところに社会福祉士がいた！」

＜大阪北支部・会員リレー紹介 040＞ レポーター（島岡繁希）



今回ご紹介するのは、一般社団法人「こもれび」の理事、水流添真さんです。2010年大阪市西区で起きた二児餓死事件をきっかけに「こんな華やかな街で、なんでこんなことが起こるんや」との思いから使命感を抱き、2013年に同区で「ひとりぼっちをつくらない」を理念とした法人「ゼロひゃく相談支援センター」を社会福祉士の奥様と一緒に立ち上げました。障がい児・者の計画相談を中心に、子育て相談、高齢者の介護相談等に応じる事業所として、0歳から100歳以上の方までを対象とした相談支援事業を開始、児童発達支援等の法定事業のほか、子どもの居場所づくり等の独自事業を実施し、制度のはざまに陥る子どもたちへのサポートを展開されています。

そんな水流添さんは奥様と共に「後先考えずにやっちゃう」性格で、「資源がなかったらつくろうよ！」と、「今もやりたいことはいっぱい」と話されます。実は理系の大学・大学院を卒業され、福祉との出会いは大学生のときに体験した障がい児の保育ボランティア、老健でのボランティアでした。「こんな世界があるのか」と衝撃を受けたそうです。社会人1年目のシステムエンジニアのとき、知り合いからのご縁で介護の業界に飛び込み、経験を重ねるなかで、「目の前の介護だけでなく、その方の暮らし全体を考える仕事をしたい」と社会福祉士の資格を取得されています。

社会福祉士として大切にされていることは、「制度の狭間」を埋める、その方の生きる力が強まる、支援につなげていくことです。法人内・外でつなぎ、共に関わる実践を重ね、現在は行政からの相談も増えてきました。「10年経って、浸透してきたかなあ」と行政・関係機関との連携を大切にされています。夢は「思いを持った人が増えてほしい、みんなが思いを持てば可能性が広がる」と、研修で話をするときも熱が入ると話してくれました。「たのしく、しんげんに」をモットーにされている水流添さんにインタビューさせて頂き、私も楽しい時間を過ごせました。



最終案内『大阪北支部全体会議』のお知らせ ※×切 令和5年3月6日(月)まで

下記のとおり大阪北支部全体会議を開催いたします。つきましてはご多用中とは存じますが、ご出席くださいようお願い申し上げます。また、今年は全体会議後に集合しての支部懇親会を予定しております。親睦を深めるため懇親会のご出席もぜひ、お待ちしております。

日時：令和5年3月11日(土) 14:00～

開催場所：大阪府社会福祉会館(402会議室)及びリモートオンライン支部全体会議(ZOOM)

議題：1. 令和4年度事業報告の承認の件 2. 令和4年度決算報告の承認の件
3. 令和5年度事業計画の報告の件 4. 令和5年度予算の報告の件
5. 支部役員選任の件 6. その他



申し込み：下のURLもしくは、右のQRコードから申し込みください。

<https://forms.gle/qGReZWorZ5j1TiiU6>

懇親会：会議会場近く 15:00頃より予定(予算4,000円)



★令和4年2月より、大阪北支部の公式LINEアカウントの運用が開始されています。

現在、大阪北支部会員の100名近くの会員が登録されています。

LINEの「友だち追加」から、ID検索「@712abvel」するかQRコードをスキャンしてください。

